

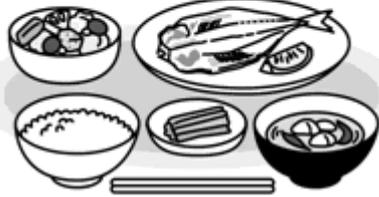


11月給食たより

令和元年10月31日
調布市立第二小学校

11月24日「和食の日」 いいにほんしょく

(一般社団法人和食文化国民会議制定)



2013年にユネスコ無形文化遺産に登録された「和食；日本人の伝統的な食文化」は、日本人が基礎とする“自然の尊重”という精神にのっとった食に関する社会的習慣が認められたものです。その特徴として、「多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重」「健康的な食生活を支える栄養バランス」「自然の美しさや季節の移ろいの表現」「正月などの年中行事との密接な関わり」の4つが挙げられています。

感謝の心を大切に

11月23日は勤労感謝の日です。毎日の食事は、生き物の命や自然の恵みをはじめ、多くの人の支えによって成り立っています。心を込めて「いただきます」や「ごちそうさま」の挨拶をし、食事を大切にいただきましょう。



11月の献立より新メニューの紹介



- 20日 さつま芋スティック揚げ・・・スティック状に切ったさつま芋を揚げて塩を振りかけます。
- 25日 ツナと昆布のご飯・・・・・・ツナと細切りの昆布の他、油揚げや大豆なども入った具だくさんの混ぜご飯です。

11月30日は「ゲゲゲ忌」です！

「ゲゲゲの鬼太郎」の作者である漫画家・水木しげるさんは、調布市の名誉市民です。水木しげるさんは鳥取県境港市で育ち、その後93歳までの56年を調布で過ごしました。

きたろう
鬼太郎バス

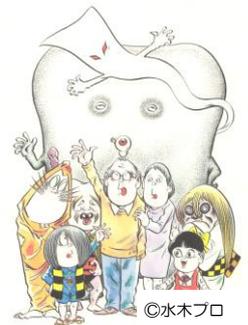


調布のまちなかには、「ゲゲゲの鬼太郎」に登場する鬼太郎や目玉おやじ、一反もめんなどの妖怪たちが描かれたバスやマンホールがあったり、調布駅近くの商店街には「ゲゲゲの鬼太郎」のキャラクターたちのモニュメントが飾られています。

マンホール



調布市では、水木しげるさんが亡くなった11月30日を「ゲゲゲ忌」とし、いろいろな催しが行われています。そこで、11月29日の給食では「ゲゲゲ忌」にちなんで水木しげるさんが好きだったという「和風ハンバーグ」を取り入れました。



©水木プロ